

2018年度

第45回KMJ学習会

2018年度最初のKMJ学習会では、浦山桐郎と今村昌平によって1962年に製作された「キューポラのある町」を上映します。

埼玉県川口市を舞台に、労働者の苦悩を中心に描いた作品ですが、実は、当時の在日朝鮮人問題が裏のテーマとして描かれています。日本人の少女ジュン（吉永小百合）から見た在日朝鮮人像は当時の日本人の一般的な視点だったのではないかと思います。この映画から当時の「在日」像を読み解いていきたいと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています

記

日 時 2018年4月27日（金）

受付 14:30 開始 14:45 終了 17:00

会 場 貸教室・貸会議室 内海 101会議室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル2階（JR水道橋駅西口）

内 容 映画から読み解く「在日」

上映作品「キューポラのある町」

（1962年製作、監督・脚本：浦山桐郎、脚本：今村昌平、原作：早船ちよ）

解 説 高 敬一（KMJ事務局長）

参加費 3,000円

【あらすじ】

中学3年の石黒ジュン（吉永小百合）は、鋳物工場の直立炉（キューポラ）が立ち並ぶ埼玉県川口市の鋳物職人の長女である。何事にも前向きで、高校進学を目指すジュンだが、父・辰五郎（東野英治郎）が工場を解雇されたため、家計は火の車で、修学旅行に行くことも諦めていた。自力で高校の入学費用を貯めようと、パチンコ屋でアルバイトを始めるジュン。担任教師の助力で修学旅行にも行けることになった。しかし、ようやく再就職した父親は、待遇が不満で仕事をやめてしまった。絶望したジュンは女友達と遊び歩き、危うく不良少年たちに乱暴されかけた。全日制の高校進学を取りやめて、就職を決断するジュン。北朝鮮への帰還問題で苦悩する朝鮮人の一家や、貧しくとも力強く生きる人々との交流を通じて、ジュンは、自立して働きながら定時制で学び続けることに意義を見出したのだった。

キャスト：吉永小百合、東野英治郎、浜田光夫、鈴木光子ほか

*参加ご希望の場合は、裏面申込用紙にご記入いただきKMJ事務局までFAX（06-6717-2702）にてお申し込み下さい。また、終了後、懇親会を行いますのでご希望の方はお申し込み下さい。

*終了後、懇親会を行いますので、ご希望の方はお申込みをお願いします。

連絡先 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター（KMJ）

〒544-0032 大阪市生野区中川西3丁目10番18号

TEL 06-6717-2701 FAX 06-6717-2702

e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com

担 当 高敬一（090-9717-1159）

第45回KMJ学習会申込用紙

(2018年4月27日開催)

(FAX06-6717-2702)

○第45回KMJ学習会に参加します。

団体名

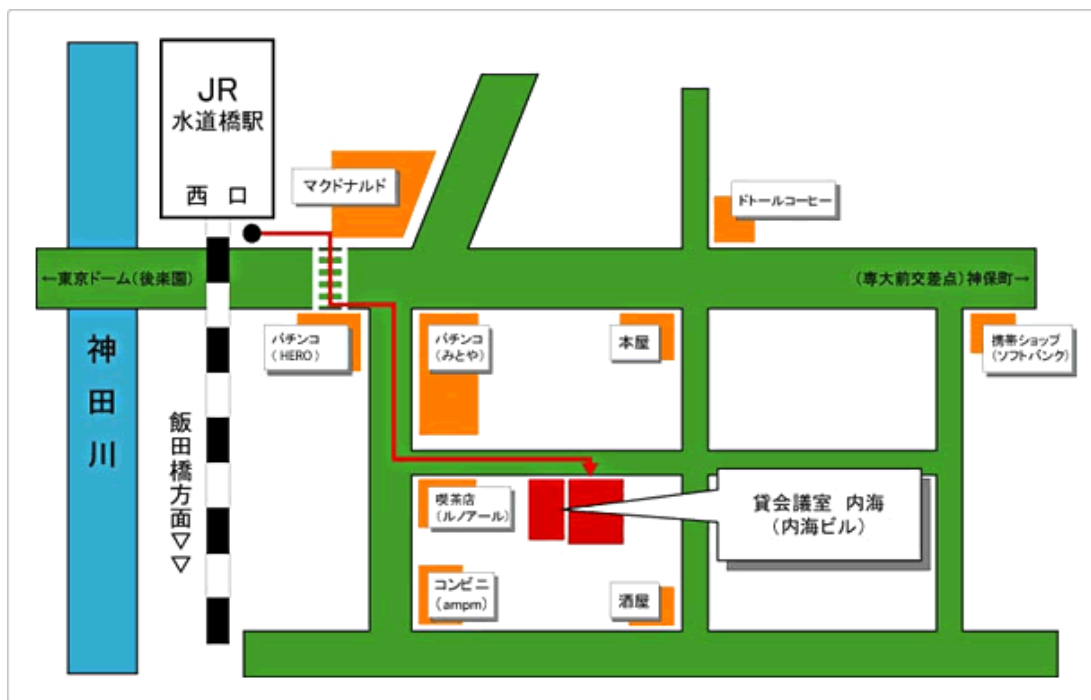
担当者名

○請求書

必要

不要

【会場地図】



○終了後の懇親会

参加 (人)